
君に、今・・・

丸山杏梨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君に、今……

【Nコード】

N8291Z

【作者名】

丸山杏梨

【あらすじ】

ねえ、神様。

なんで私から大切なモノばかり奪っていくの？

14年間生きてきた。

そのなかで私が経験した運命を変える4回の大きな『死』。それを経験して私が感じたこと。

「人は何を想って生きるの？」

1・始まりの時（前書き）

ねえ、神様。

なんで私から大切なモノばかり奪っていくの？

まだ14歳。

私はまだこの世に生れてから今まで14年しかたっていない。けど、この14年間の間でたくさんを経験した。

運命を大きく変える4回の『死』。

大人たちの『嘘』。

いったい何を信じて生きればいいのか？

これは私が経験したまぎれもない事実。

友達にも誰にも相談できなかった事実。

つたないところも多いですがこの私のメモリアルにお付き合いください。

「人は何を想って生きるの？」

私はこの答えが知りたい。

「人は哀しみを越えたら強くなるの？」

私はこの答えが知りたい。

ねえ、神様。

なんで私から大切なモノばかり奪っていくの？

1・始まりの時

はじまりは、小学生2年生の頃だったと思う。

私は、14年間生きて、今まで大きな『死』を4回経験した。ねえ、神様。

そこにいるなら返事してよ。

姿を見してよ。

なんで、私から大切なモノばかり奪っていくの？

私が産まれた家庭は、ごく普通の一般家庭だった。

優しい父に、厳しい母と、7歳離れた大好きな兄。

愛情にあふれた良い家庭に生まれた。

小さい頃から、勝気な性格で身体も幼稚園の頃には130を超えていた私は

いつも女王気取りな、いわゆる「マセガキ」だったのだと思う。

だけど、優しい幼馴染や幼稚園の友達は私を暖かく迎え入れてくれた。

だから、この時私はわかっていなかったんだ。

この、勝気な性格が私の運命を大きく変える元になるとは……。

小学2年生の時、私は今まで通っていた地元の小学校から市内だが、違う小学校へと

転校した。

そして、その小学校で私の運命は大きく変わっていく。

私にはそこであすかという女の子と仲良くなった。

私はこのころ身長は142センチで高かったのだが、あすかも同じくらい背が高く

身長の話から私達は仲良くなった。

明るくて、友達思いなあすかだったが一つだけ、嫌な点があった。

それは「欲しがり」だった。

その頃、ある漫画の付録の下敷きが流行っていた。

私とあすかももちろん使っていた。

だが、ある日こんなことが起こった。

「ねえねえ、あんちゃん！見て見てッ！下敷き2枚ついていたの！！」
ある女の子がこう言った。

2枚ついていた、というのは付録にミスがあり、たまたま2枚付録
がついていた、ということだった。

この子だけでなく、他の子も数人2枚ついていた。

だが、この『2枚』がある事件を引き起こすきっかけとなってしま
った。

あすかはボソツとつぶやいた。

「狡い。狡いよ」

これが、事件の始まりだった。

2・狡い。

「え？あすか何か言った？？」

私はあすかを見て言った。

あすかは笑顔で言う。

「ううん、なんでもないよ。でも、いいなあ2枚！」

「ね！」

そして、その日の昼休み。

事件は起こる。

「あすか！今からみんなで遊び行くけどあすかも行かん？」

「あ、あすか今日ちょっとしんどいから行かない！あんり、行って来て！」

「う、うん……。」

今思えば、あすかがこの時今までに見たことないくらい笑っていた。不気味、というのはこういうのを言うのだと思う。

そして、その時は来る。

「あ！！下敷きがない！！！」

「私のも！」

「うそ！あんりちゃんのも？？」

「あたしのもない　ッ！！！」

そう。クラスの女子全員の下敷きがなくなっていた。だけど、1人あすかだけが不気味に微笑んでいた。

「え？大丈夫？？あすか、ずっと教室にいたけど、誰もこなかった

「？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8291z/>

君に、今・・・

2011年12月26日11時57分発行